

研究所 月報 2025.7

いる可能性がある企業は65%

静かな退職状態の社員

最近、人事界限で「**静かな退職 (Quiet Quitting)**」という言葉が頻繁に聞かれるようになってきました。これは、**仕事への熱意が薄れた従業員が、必要最低限の業務にしか携わらない状態**のことを指しますが、エン・ジャパンではその実態に関するアンケート調査を実施し、結果を公表しました。

本日はその内容を見ていきたいと思います。なお、本調査の対象は同社サービス「人事のミカタ」を利用する企業212社となっています。

まず「現在、貴社では「静かな退職」状態の社員はいますか？」という設問については、全体の20%が「いる」、45%が「いる可能性がある」と回答しています。この数字は従業員数と概ね比例しており、1,000名以上企業では37%が「いる」、58%が「いる可能性がある」と回答しており、深刻な状況にあることが分かります。

静かな退職状態の社員が「いる」「いる可能性がある」と回答した企業に対して、「**静かな退職状態になってしまった要因**」について聞いている設問の上位は以下のとおりとなっています。

- 30% プライベート重視になってしまったから
- 26% 特にない・わからない
- 25% ある程度の出世・昇給に満足してしまったから
- 22% チャレンジングな仕事や業務を任されなかった
- 17% 競争が少なく、活気のない部署に配属されたから

このように個人の理由もありますが、職場環境にも問題があると考えられていることが分かります。その対策としては、「給与体系の見直し」と「特に何もせず状況を見る」がいずれも32%でトップとなっています。

賃金の引き上げが必要な時代となっていますが、それに伴う人事制度・賃金制度改革の機運も高まっています。限られた原資を有効に配分し、社員のエンゲージメントを高めるためにはより貢献度重視の制度設計が求められることになるでしょう。この静かな退職問題は、更にその傾向を強める可能性があると思われます。



2025年に中途採用者賃金を4%以上引き上げる企業が40%

中途採用・転職市場が活況となっています。政府の三位一体の労働市場改革では、リスクリングからの成長分野への労働移動を促進することにより、構造的な賃上げを進めるといっていますが、多くの企業において実際に中途採用者の賃金引き上げが行われているようです。

本日は、マイナビの「中途採用・転職 総括レポート 2025 版 (2024 年実績)」から中途採用者の賃上げ引き上げ状況について見てみたいと思います。

全体で 2024 年の実績と 2025 年の予定をしてみることにしましょう。

4.9%	→	8.4%	前年度より、20% 以上の水準で上げた (上げる予定や検討がある)
16.3%	→	15.1%	前年度より、10% 以上～20% 未満の水準で上げた (上げる予定や検討がある)
22.7%	→	19.5%	前年度より、4% 以上～10% 未満の水準で上げた (上げる予定や検討がある)
15.0%	→	11.9%	前年度より、3% 以上～4% 未満の水準で上げた (上げる予定や検討がある)
8.8%	→	6.9%	前年度より、2.5% 以上～3% 未満の水準で上げた (上げる予定や検討がある)
6.1%	→	5.7%	前年度より、1.5% 以上～2.5% 未満の水準で上げた (上げる予定や検討がある)
4.2%	→	4.0%	前年度より、1.5% 未満の水準で上げた (上げる予定や検討がある)
16.2%	→	19.2%	変わらない (予定)
0.8%	→	0.9%	前年度より下げた (下げる予定)
5.1%	→	8.4%	把握していない・わからない

このように 2025 年の予定として、前年度より 20% 以上の水準で上げる予定や検討があるという回答が 8.4% もあり、また 4% 以上の引き上げの合計も 43.0% となっており、初任給だけでなく、中途採用の賃金も大幅に上昇していることが分かります。

今後、中小企業から賃金水準の高い中堅企業・大企業への労働移動がますます進むことが予想されます。改めて収益性の向上が企業生き残りの絶対条件であることが分かります。

ひらたコラム

最後に映画館で映画を観たのは、もう 10 年以上前のはず…。最近サブスクサービスも発展してきて、いよいよ映画館から足が遠のいていましたが、この度、どうしても観たい映画があったので、いざ、映画館に行って参りました！

「JUNK WORLD (ジャンクワールド)」という、自主製作のストップモーションアニメです。ミニチュアの舞台を作って、キャラクターを一コマコマ動かしながら撮影していくという、気が遠くなりそうな作品です。前作「JUNK HEAD (ジャンクヘッド)」をアマゾンプライムで観てからその世界観に引きずり込まれ、次回作を心待ちにしていました。今回は前作とはまた違った雰囲気でしたが、監督ほぼ 1 人で作っていた前作と比べ関わる人も増えて、次回作も楽しみな感じ。



発行/2025年6月30日 第158号
平研究所 代表・社会保険労務士 平田 さやか
733-0865 広島県広島市西区草津本町 9-18-201
TEL 082-530-2344 / FAX 082-553-0544
Mail info@tairaken95.com
URL http://tairaken95.com

